

リシテア/就業管理クラウドサービス

導入事例 | コマツ福島株式会社様



所在地	福島県郡山市下亀田16-3
設立	2012年6月1日
従業員数	138名(2020年4月1日現在)
事業内容	建設機械および 付属品の販売・整備・賃貸
URL	https://www.kics.co.jp/

写真左から 業務部 吉田汐里氏、
 取締役業務部長 植野聖一氏、郡山支店 成田夕希氏

タイムリーな勤務実績の把握により適切な勤務管理を実現し、 従業員にとってさらに働きやすい環境へ

世界の“コマツ”のブランド名を冠し、建設機械の販売・整備・賃貸を手がけるコマツ福島株式会社は、勤怠管理システムを「リシテア/就業管理クラウドサービス」へ刷新。従業員による申告漏れや打刻漏れを回避し、集計の手間を大幅に軽減するとともに、休暇取得の促進や在宅勤務にも適した環境を整えることに成功しています。

課題

管理職が部下の就労状況をタイムリーに把握できない

打刻漏れや申告漏れを各店の担当者が
 手作業でチェックしている

残業や有給休暇の取得状況を集計し
 Excelデータにして管理職に共有している

効果

就労状況をリアルタイムに可視化して
 残業抑制や休暇取得の促進を強化

勤怠の締めにおけるチェック作業を
 最小化するとともにミスの発生リスクを軽減

手作業での集計業務を排除し、
 生産性の高い業務に集中できる時間を確保

SOLUTION

システムから“気づき”をもらえる、 現場業務重視の従業員フロント機能

- 超過勤務時間や有給休暇取得状況などを
 マネジメントの観点からビジュアルで把握
- アラート通知により、特にフォローが必要な従業員を
 タイムリーに把握
- 自身の勤務実績が直感的に把握でき、セルフマネジメントを促進



勤務状況をビジュアルで直感的に把握できるシステム画面

コマツ福島株式会社 様 INTERVIEW



取締役業務部長
植野 聖一 氏



業務部
吉田 汐里 氏

背景 対応できない要件が増えシステム入替を検討

国内トップシェアを誇る世界のコマツ製建設機械の修理・メンテナンス・レンタル業務を手がけるコマツ福島株式会社は、地元福島で地域密着型の事業展開を行っています。台風被害などの際に最前線で活躍していたのも同社の建設機械であり、それらの修理・メンテナンスを通して福島県内の安心安全やインフラ整備にも寄与しています。

そんな同社が勤怠管理システムの入替を検討し始めたのは、既存システムのサポートメンテナンス終了の知らせを受けてのことでした。もちろん、バージョンアップして使い続けるという選択肢はあったものの、使い勝手をさらに向上させたいと考えていたこともあり、せつかくなら他社製品と比較したうえで判断したいと考えました。

「法律の改正により、残業の上限規制や有給休暇取得の義務化が求められるなかで、システムでカバーできないことが増えつつありました。たとえば、残業や有給休暇の取得状況については総務部門で集計をかけてからExcelに落とし、見やすい状態に加工した上で各店の管理職に共有するという方法で対応していました。手作業となるとどうしてもタイムラグが発生しますし、管理職が部下の就労状況をタイムリーに把握しづらく、困っていました」(吉田氏)

取り組み 選定の決め手は現場にとっての使いやすさ

同社はシステム入れ替えも視野に入れながら4社の製品を比較。最終的に、システムに詳しくない人でも直感的に分かりやすく、従業員本人・上長の使いやすさが決め手となり、「リシテア/就業管理クラウドサービス(以下、リシテア)」の導入を決定しました。

「『リシテア』は、一定の残業時間を超えたら自動で本人に対してアラートが出て、上長にも通知されます。この機能はぜひとも欲しいものでした。従業員の目線から見ても、勤務実績を登録する際にどこに何を入力すればよいか分かりやすく、管理する側も管理される側もそれぞれの立場でシンプルに使えるイメージがわかりました」(吉田氏)

また、グループ会社のコマツが「リシテア」の長年のユーザーであったことも導入の後押しになりました。

「最先端の優れた製品を導入できるならそれに越したことはありません。コマツのような大手のグローバル企業が使っているという安心感は大きく、簡単で使いやすいし分かりやすいという評価を担当者からも直接聞いていました」(植野氏)

効果 管理業務の効率化が進み思わぬ副次的効果も

「最初の印象どおり、シンプルで使いやすく、良いものを導入できたという実感があります」と植野氏が語るように、導入後は大幅な効率化を実現。

「以前は打刻していない人、勤怠を登録していない人などを各店の担当者が取りまとめて一人ひとりへ催促していましたが、そうした手間が不要になることで煩雑さが解消され、管理が楽になったという声が届いています。そもそも打刻漏れや申告漏れが発生しないように設計されたシステムですから、毎月の勤怠の締め作業に関しても最小限のチェックで済むようになりました」(吉田氏)

植野氏も、「より生産性の高い業務に集中できる時間が、着実に増えたのは間違いありません」と強調します。

また、「リシテア」を選択したことにより、思わぬ副次的効果もありました。たとえば、「休暇」のタグを選ぶと取得可能な休暇が一覧表示されるようになったことで、従業員自身が法定休暇や特別休暇の種類を知るきっかけになっています。従業員にとって、より働きやすく・より休暇を取得しやすい環境作りを進めるうえで、良い影響が出始めています。さらに、PCでのWeb打刻で出勤管理が行えるため、働く場所を問わず勤務状況を管理することも可能です。これにより、今後は働き方の1つとして在宅勤務を選択できる環境が整ったこととなります。

展望 自社に合った使い方でメリットを最大化

「リシテア」を長期的に運用していくなかでは、データ活用の可能性も広がります。「リシテア」を通じて可視化された就労状況が、長い目で見て従業員のワークライフバランスや働き方改革を促していくこともあるでしょう。

しかし、企業ごとの要件にきめ細やかに対応できるのが「リシテア」のアドバンテージである一方で、汎用性の高さゆえの悩ましさもあります。たとえば集計作業に関して、「まだ不慣れな部分もあり、どの数字とどの数字を取れば見たい指標が得られるのか、十分に理解しきれていません。今後のさらなる活用においても、日立ソリューションズの提案・サポートを期待しています」と吉田氏は語ります。

データの利活用が進めば、「リシテア」の導入効果はさらに大きくなります。従業員にとってますます働きやすい職場環境を整備していくうえで、これからもコマツ福島と日立ソリューションズとの協創関係は続いていきます。

※本事例の内容は取材時点(2021年11月)の情報です。※本文中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本文中の情報は、事例作成時点のものです。

本事例のwebページはこちら

www.hitachi-solutions.co.jp/lysithea/case37/



株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/lysithea_cloud/sp/